

グローバル化する地域社会における まちづくりに関する研究会

グローバル化を見据えた都市政策の内外比較研究

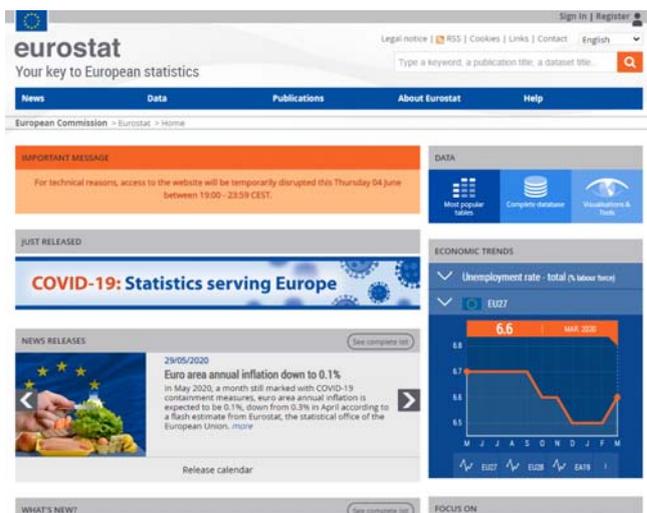
欧州の都市における外国人居住の実態と論点整理

公益財団法人 日本都市センター

欧州各都市の外国人住民の状況
Eurostatの基礎的分析

eurostatについて

Eurostat:欧州委員会の統計部局



<https://ec.europa.eu/eurostat>

データベースの一覧 (ツリー)



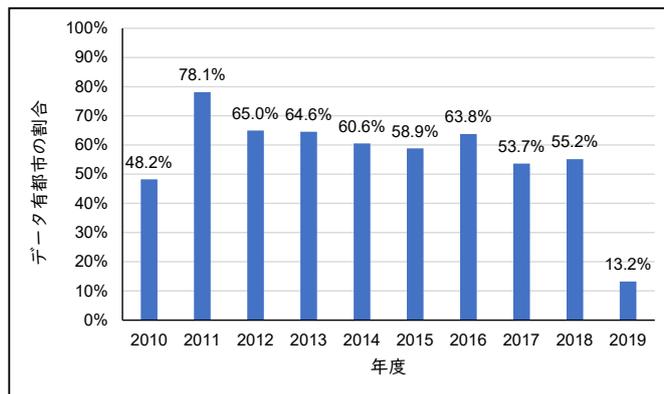
3

都市統計 (Cities and Greater cities)

• 998都市(Cities)と48の大都市圏(Greater cities)

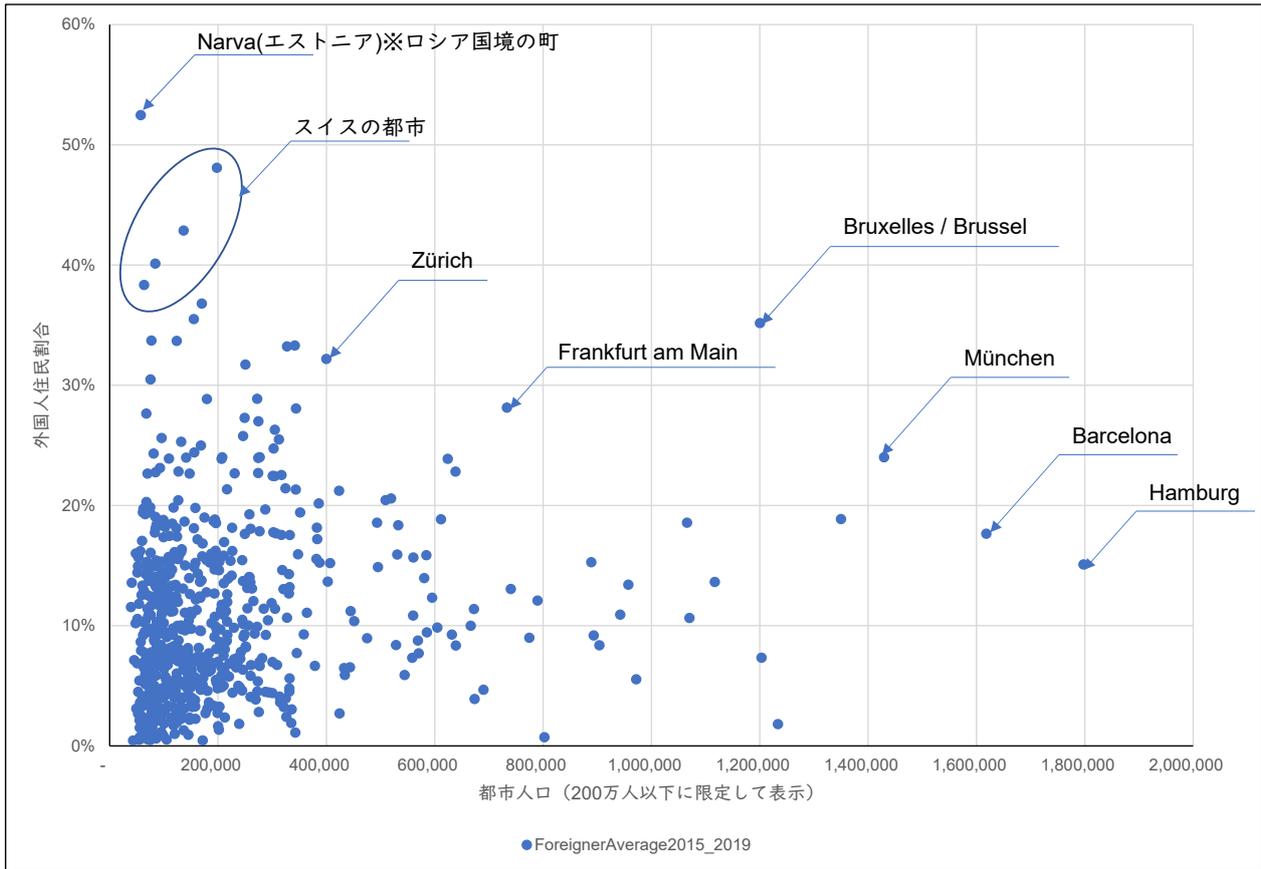
- Population on 1 January by age groups and sex
- Population structure
- **Population by citizenship and country of birth**
- Fertility and mortality
- Living conditions
- Education
- Culture and tourism
- Labour market
- Economy and finance
- Transport
- Environment

1. Nationals
2. EU-Foreigner
3. NonEU-Foreigner
4. Native Born
5. Foreign Born



4

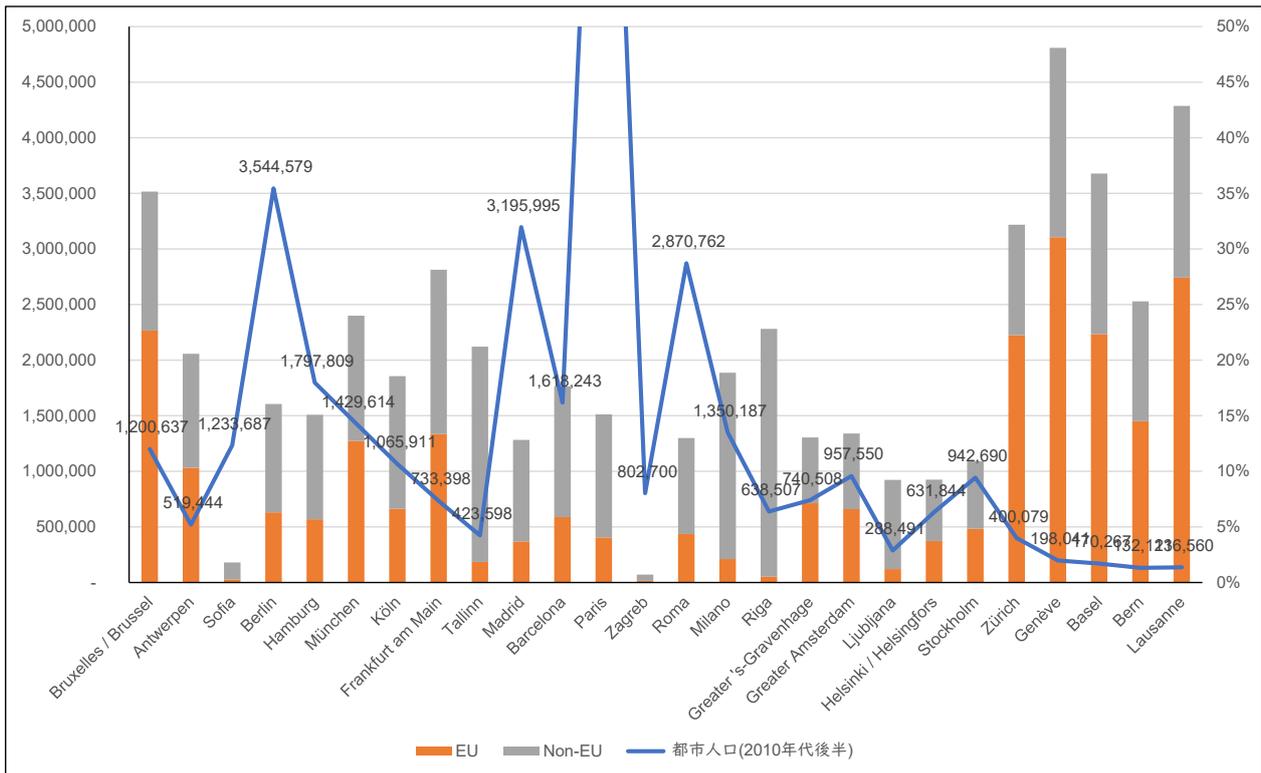
2010年代後半の外国人住民割合



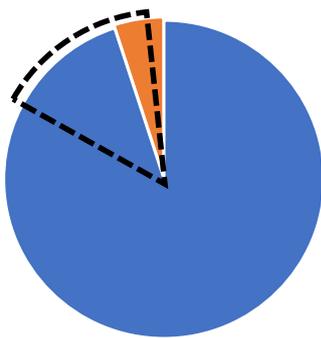
国別・人口規模別クロス集計

	10万人未満				10万人以上 20万人未満				20万人以上 50万人未満				50万人以上 100万人未満				100万人以上				
	数	EU	Non-EU	全体	数	EU	Non-EU	全体	数	EU	Non-EU	全体	数	EU	Non-EU	全体	数	EU	Non-EU	全体	数
BE ベルギー	4	6.2%	6.2%	12.4%	2	3.5%	3.3%	6.8%	3	9.1%	6.5%	15.5%	1	10.3%	10.3%	20.6%	1	22.7%	12.5%	35.2%	11
BG ブルガリア	12	0.1%	0.7%	0.8%	2	0.1%	1.0%	1.1%	3	0.2%	1.2%	1.4%					1	0.3%	1.5%	1.8%	18
DE ドイツ	25	5.9%	6.9%	12.8%	33	6.2%	8.6%	14.8%	24	5.2%	8.1%	13.3%	10	6.9%	9.7%	16.6%	4	7.8%	10.6%	18.4%	96
EE エストニア	2	1.3%	28.8%	30.1%					1	1.9%	19.4%	21.2%									3
ES スペイン	47	4.1%	6.5%	10.6%	34	3.5%	6.6%	10.0%	22	2.2%	6.5%	8.7%	4	2.8%	5.8%	8.6%	2	4.8%	10.4%	15.2%	109
FR フランス	26	1.9%	6.7%	8.6%	26	1.8%	5.9%	7.7%	11	2.1%	6.8%	9.0%	5	2.9%	6.6%	9.4%	2	3.3%	9.6%	12.9%	70
HR クロアチア	1	0.1%	0.5%	0.5%	3	0.2%	0.5%	0.6%					1	0.2%	0.5%	0.7%					5
IT イタリア	46	2.1%	5.9%	8.0%	30	2.3%	8.5%	10.8%	10	2.4%	7.4%	9.8%	4	2.3%	6.3%	8.5%	2	3.2%	12.7%	15.9%	92
LV ラトビア	3	0.4%	20.2%	20.5%									1	0.5%	22.3%	22.8%					4
NL オランダ	12	2.6%	2.2%	4.8%	21	2.5%	2.1%	4.6%	5	3.6%	3.3%	6.8%	2	6.9%	6.4%	13.2%	1	3.7%	3.7%	7.3%	41
SI スロヴェニア					1	1.1%	6.8%	7.9%	1	1.2%	8.0%	9.2%									2
SK スロヴァキア	6	1.4%	0.3%	1.8%					2	1.6%	0.7%	2.3%									8
FI フィンランド					5	1.1%	2.6%	3.7%	3	3.3%	4.9%	8.2%	1	3.7%	5.5%	9.2%					9
SE スウェーデン					4	1.9%	4.6%	6.5%	2	5.1%	6.7%	11.7%	2	4.2%	6.6%	10.9%					8
UK イギリス	10	6.4%	2.6%	9.0%	63	6.0%	3.9%	9.9%	76	8.0%	6.2%	14.2%	5	5.6%	5.8%	11.4%	1	6.9%	6.8%	13.6%	155
CH スイス	3	20.7%	10.3%	31.0%	5	21.8%	13.6%	35.4%	1	22.2%	9.9%	32.2%									9
総計	197	3.5%	5.9%	9.4%	229	4.4%	5.8%	10.1%	164	5.6%	6.5%	12.1%	36	4.7%	7.6%	12.2%	14	6.2%	9.4%	15.7%	640

主要都市の状況

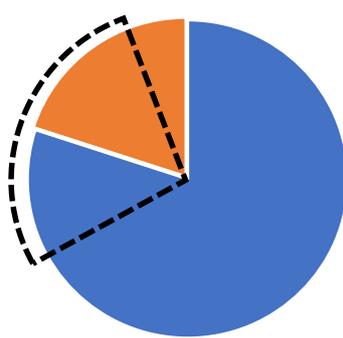


日本



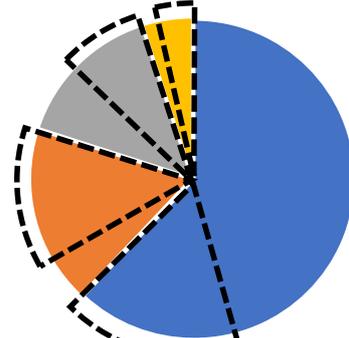
■ 自国民 ■ 外国人

欧州

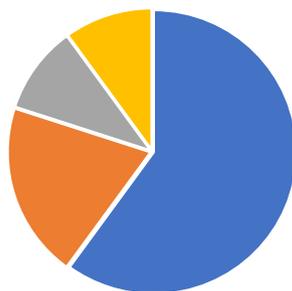


■ 自国民 ■ 外国人

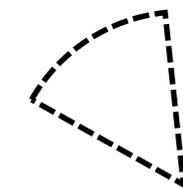
米国



■ 白人 ■ ヒスパニック ■ 黒人 ■ アジア系



■ (狭義の)自国民 ■ 移民背景のある自国籍民
■ EU内からの外国人 ■ EU外からの外国人



社会への参加・生活に支援を必要とする人々

1. 都市圏における外国人の居住地特性と政策・計画的関与

2. 「社会的包摂・公正」概念の理論的整理

- 政策目標・課題として位置づけられる指標・事象
- 「排除・分断」が自明のものであるのに対して、曖昧な概念である「包摂・公正」をどのように評価するか
- 負の影響の緩和に留まらず、多様性が生むポジティブな側面の評価・検討

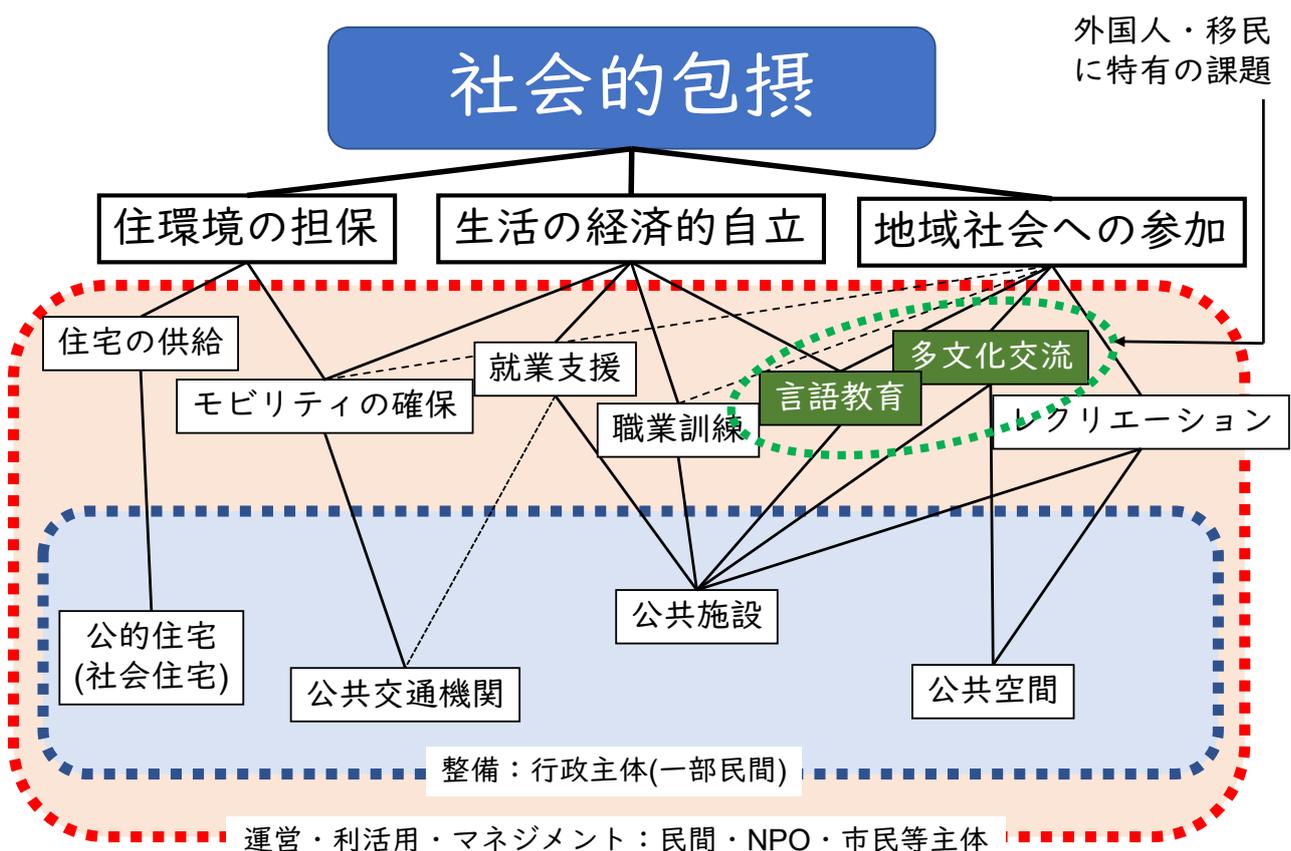
3. 都市空間に関わる具体的な政策・施策【前回研究会で提示】

- 具体的な政策分野(住宅・土地利用・都市デザイン)におけるハード整備・再生と利活用・マネジメントの連携のあり方
- 欧州(EU)・北米・日本における比較検討

4. 社会的包摂に係るプロジェクトの主体

- プロジェクトに関わる資金の出資主体
- プログラムを実施するマネージャーの職能
- 外国人住民(国籍は自国民だが移民的背景を持つ人も含む)のプログラムへの参画のあり方

本研究会の対象範囲と社会的包摂の関係



社会的包摂に係るプロジェクトの主体

● プロジェクトに関わる資金の出資主体

国際機関・政府・地方自治体

- ・ 欧州各国は公的主体が中心
- ・ 中長期スパンでのプロジェクトの継続性
- ・ プロジェクトによって将来の地価が上昇することを見込んだTIF (Tax Increment Financing) など

民間助成団体 (財団・企業等)

- ・ 北米は民間団体からの資金が中心
- ・ 民間企業の(税対策としての)寄付金などが原資となっている
- ・ 自国民と外国人の関係性がフラット

プロジェクトの公益的な価値と効果(成果)の評価・測定はどうあるべきか？

● プログラムを実施するマネージャーの職能

ソーシャルワーカー

プランナー

- ・ 海外のプロジェクトではプロジェクトごとに「コミュニティマネージャー」が常駐
- ・ コミュニティごとの予算使途の裁量・自由度
- ・ ハード整備とソフト施策の連携の重要性

マネージャーを常駐させるための仕組みづくり
外国人住民自身によるマネジメントへの参画・主体化

グローバル社会のまちづくりと「参加」

□ 「まちづくり」の目的

- ・ 地域の課題解決や価値・魅力の向上(観光まちづくり、景観まちづくり、など〇〇まちづくりとして多様な目的・種類がある)
- ・ 自然災害(地震、風水害など)被災時の地域の復旧・復興、あるいは災害を想定した事前復興(防災・減災まちづくり)

□ 手段としての参加

まちづくりのプロセスにおいて、多様な主体の参加を促し、ワークショップなどの手法を通じて多様な意見、考え方を反映した成果(施策・空間デザイン・事業など)を生み出す

⇒「多様な主体」の一属性としての外国人住民の位置づけ

⇒外国人住民が発意するまちづくりにおける周囲のホスト社会側の住民の参加も

□ 目的としての参加

多様なまちづくりの活動や各種の都市政策を通じて、最終的に多様な主体が地域社会に包摂されることを目指す

⇒外国人住民が地域社会の主体として参加することは、地域社会の構造の変容、すなわち「グローバル化」をもたらす

⇒分断された「悪しきグローバル化」と包摂された「良きグローバル化」の分かれ目はどこに？